

# Special interview 37

「男女共同参画」は、男だからとか女だからではなく、「自分らしく生きること」です。  
そんなふうになばりに「自分らしく」生きている、名張の女性たちを紹介しします。

## 宇野 智子 さん

なばりしたぶんかきょうせい  
名張市多文化共生センター  
サポーター

### profile (プロフィール)

ねんまえ なばり す かいしゃ ほとら  
10年前から名張に住んでいます。会社で働きのが  
ら、名張市多文化共生センターのサポーターをして  
います。子どもがひとりいます。



し 知ることからつながる 多文化共生の輪

いま かつどう りゆう  
今の活動と、はじめた理由はなんですか。

なばりし たぶんかきょうせい にほんごきょうしつ  
名張市多文化共生センターで日本語教室のサ  
ポーターをしています。

なばり せいかつ な ころ にほんご  
名張での生活に慣れた頃、「日本語ボランテ  
ィア講師養成講座」のチラシを見ました。すぐに  
申し込み、7回の講座を受けて、サポーターに  
なりました。それからは、できるだけ毎週日曜日  
に日本語教室に参加しています。

にほんごきょうしつ にほんご まな ばしょ さん  
日本語教室は、日本語を学ぶ場所ですが、参  
加した人に「楽しい」と思っています。教室では  
すべて日本語で話します。外国人がみんな英  
語を話すわけではありません。

にほん がいこくじん  
日本にいる外国人のみなさんにとって「やさし

にほんご いちばん ことば  
い日本語」が一番わかる言葉です。

きょうしつ かいわ せいかつ やく た じょうほう はな  
教室での会話で、生活の役に立つ情報を話  
したり、外国のことを教えてもらったりしてい  
ます。みなさんと過ごすことは、私の楽しみに  
なっています。

へんしゅうぶ なばりし たぶんかきょうせい にほんごきょうしつ  
編集部より：名張市多文化共生センターの日本語教室で  
は、今は、32人が学んでいます。サポーターのみな  
さんがボランティアで日本語を教えています。

たぶんかきょうせい きょうみ  
なぜ、多文化共生に興味をもったのですか。

しょうがく ねんせい とき  
小学5年生の時、クラシックバレエでカナダに  
少しの間留学しました。その時に、言葉がわから  
なくて、「英語がしゃべりたい」と思いました。

えいご おも  
そして、高校生のときに、カナダに長い間ホ

ームステイをしました。寂しくて泣いたことも  
 ありましたが、人とのつながりを感じて、本当  
 に楽しかったです。また、大学生の時に台湾に  
 ながあいだりゅうがく ことば くらう  
 長い間 留学しました。言葉では 苦労しました。  
 でも、周りの人に 助けてもらったので、「一人で  
 生きていてのではない」と感じました。

ある国に しばらく 住んでも、全部を 知るこ  
 とはできません。出会った人が その国の イメージ  
 になります。私は、外国人に「名張に 来て よか  
 った」と 思ってもらえる ような 人になりたいで  
 す。名張には、名張市多文化共生センターがあ  
 り、熱心な 職員さんがいて、イベント（交流サロ  
 ン、ワールドフェスタなど）もあります。それに  
 さんか わたし  
 参加し、私にできることをしたいです。

活動で学んだこと、やりがいは 何ですか？

いま わたし  
 今、私は、みなさんと 楽しく 過ごしていま  
 す。楽しい ことが、私の喜びです。  
 しゃかいじん あたら ひと あ  
 社会人になると、新しい 人と 会うことは な  
 かなか ありません。でも、勇気を出したので、  
 がいこくじんじゅうみん であ あたら  
 外国人住民の みなさんと 出会えました。新しい  
 ちょうせん 挑戦が、やりがいになりました。「人と 会うこ  
 と・お互いを わかること・人生を より良くする  
 つながり」が素敵なことだと 感じています。  
 ことば かわ どうぐ ことば  
 言葉は 会話するための 道具ですが、言葉だけ  
 でなく、伝えたい・わかりたいという 気持ちが  
 たいせつ  
 大切です。



「名張外国人防災リーダーズスキルアップ研修」の様子

宇野さんの夢はなんですか？また、  
 みなさんへのメッセージをお願いします。

わたし なばり たぶんかきょうせい  
 私は、いつも、名張に 多文化共生センターが  
 あってよかったと 思っています。だから、この場  
 所を もっと みんなに 知ってほしいです。知る  
 ことが 第一歩であり、自分の 世界を 広げるこ  
 とだと 信じています。

ちが ぶんか し いま わたし い かた  
 違う 文化を 知って、今の 私の 生き方が あ  
 ります。文化が 違う人たちと 協力しながら、一  
 しょく 暮らしやすい 名張市を めざしたい。みな  
 さんも、自分の 世界を 広げて 楽しんでくださ  
 い。一人の 腕で 輪を 作ると 小さい。けれど、  
 りょうて ひろ て  
 両手を 広げて みんなで 手をつなげば、輪は ど  
 んどん 大きくなります。



旅行が大好き！  
 日本のいいところも  
 いっぱい  
 見つけたいです。

見つけた「彼女らしさ」

宇野さんは、消防団の 活動にも 参加しています。「周りの 人が 私を 新しい 場所に 紹介して  
 くれる。人との つながりに 感謝」と、話します。「できない」ではなく「やってみないと わからな  
 い」と、なんでも 自分から 試してみる 人です。次の 楽しみに 向かって、きらきと 目を 輝かせ  
 る様子に、宇野さん「らしさ」を 見つけました。